

# 第1回みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議・作業部会 議事録

日時 令和元年5月28日(火)

午後2時～3時30分

場所 大河原町役場

2階 第5会議室

## 1 開会

2 開会のあいさつ 大河原町副町長 藤田 秀明

3 作業部会員挨拶

4 作業部会の進め方(別紙により説明)

## 5 協議

### (1) 作業部会会長及び副部会長の選任

作業部会長：大河原町 平野 隆

副部会長：白石市 岩澤 研治

### (2) サイクルツーリズムの現状について

(資料①-1、①-2により)

白石市：○山形、宮城の4市町をめぐり麵食べるイベントを行っている。今年で3年目になる。事務局財源とともに高畠町。○レンタサイクルを20年ぐらい行っている。当初は放置自転車対策。○オススメコースは町の中からどの方向にいても山があるので坂を上りたい人向け

角田市：○角田駅にレンタサイクル有(5時間で100円)。

蔵王町：○ヒルクライム、シクロクロス。○ラックを置いても高い自転車を持っている人は使わない。

七ヶ宿町：○白石市と同じ「グル麵ライド」を行っている。○七ヶ宿ダム公園、賑わい拠点施設「こ・らっしえ」でレンタサイクルを行っている。ダム公園のレンタサイクルは敷地内の周遊限定で敷地外に出ない事を条件に貸し出ししている。「こ・らっしえ」が113号線沿いなので自転車を借りる人は多くない。

村田町：○蔵の観光案内所でレンタサイクルを行っている。月に2～3台程度の貸し出し。

○スゴウのママチャリレースは町では関わっていない。

柴田町：○特になし

川崎町：○湖畔公園でママチャリレースを行っている。町は後援程度。○昨年レンタサイクルを東北観光復興対策交付金で実施(期間 10 月～3 月)川崎町では 60 人程度の利用。現在は導入していない。○町内を 2 つにわけたマップの作成。

丸森町：○サイクルフェスタ丸森。今年で 7 回目○サイクルマップ作成、町内の直売所等にサイクルスタンドの設置。レンタサイクル。○町内を 5 エリアに分けたサイクルコース。

大河原町：特になし

### (3)意見交換

事務局：○宮城サイクルツーリズム推進協議会は国と県で 1 月に立ち上げ環境整備がメイン(看板、道の駅にレストスペース、工具の貸し出し等)宮城県内を何分割かして地域部会を作ってほしいとのこと。(エリアは未定、2 市 7 町か 4 市 9 町)やれるところが地域部会を引っ張っていかなくてはならない。地域部会の事務局に負担がかかる。事業に関する補助はない。今のところは様子を見ている

○宮城インバウンド DMO は東北観光復興対策交付金で 5,000 万円のうちいくらかサイクル事業が入っている。(電車、バス等で自転車を運送するテストの実施。無料休憩所の増、サイクルコースの増、サイクルツーリズムの協力事業社の増等)  
○自転車は自転車なりのマップの作成。自転車でしか行けないような場所。自転車版の三十六景のような物。自転車で行かなければ見逃してしまうようなポイント(村田の蔵等)

○HP や SNS の活用。例えば、サイクル仙南のカードの配布(マンホールカードのような、URL か QR コードを乗せることで HP を検索できるように)など。HP の中身としては、自転車でしかいけない場所の写真を載せる、カードを持っていれば割引の利くお店の紹介、休憩所の表示、各市町の提示したいマップの掲載。

SNS を活用した相互交流。サイクルフォトコンテストの実施(サイクリストからの写真提供)。サイクリストならではの風景、見所、話題などが集約できるようなサイトがあるとよい。

#### アドバイザーから

- 何かしらの成功事例を作る。小さなことからステップアップしていく。
- 自転車は流行りもの。自転車はマイナスにならない(渋滞、公害等)
- しまなみ海道では民家の軒先にレストスペースの設置(地域の方との協力)
- イベントは効率がいい(地域の良さを知ってもらえる)
- 亘理・角田・丸森・山元を走るイベントを企画し、開催した。参加費 6 千円のイベントでも 200 人集まった。ルートは実際に走って作成した。
- イベント時じゃなくても走れるような整備(看板)
- マップの需要はある(初心者はどこ走ればいいのかわからないため)。どのように走るか、

構想を練るときに使う。走るときはマップを持つとは限らない。

○4号線を走っても危ないだけで面白くない。

○自転車に乗る人は写真の影響を受けやすい(自分の自転車を持って行って写真を撮る)

○DMOでサイクルプラットホームというサイトを作成済。現在13のコースが載っている。  
レンタサイクルモデルコースも有。

**蔵王町**：行政がお金を使わないでもいいのでは？行政がやるとなると大きなお金が必要になるが民間がやれば必要最低限なお金で済むのでは？

**事務局**：方向性としては2市7町合意のうえで事業を進めていく。事業の中で民間の力を借りて何かするのは良い。

#### 大河原地方振興事務所から

○市町村総合補助金内の市町村提案事業なら年度内でも応募が可能。地方振興事務所長が必要だと認めれば許可が下りる可能性はある(緊急) 枠はあるが、応募期間が決まってないので枠が埋まる前に相談も可能。2市7町で取り組むということは高いポイントになるが、どこかの市町が代表して申し込むことになると思われる。

**白石市**：事業の負担金というのはどう考えれば？

**事務局**：例えば、2分の1補助なので400万なら200万の補助が出る(満額が200万なので) 残りの半分を2市7町で割れば1自治体あたり20万程度の負担金という例、事業費により負担金は変わる。

**事務局**：○車が通らない自転車、歩行者優先の道路をまとめてマップに表示。自転車で行けないとこの景色を出していきたい。サイクリストを行きたいという気持ちにさせるためにマップの作成。最初は仙南の魅力をサイクリストに知ってもらう。

○事務局でマップ作成要領をまとめて次の会議で話し合う。

○専用サイトについては、大河原町HP活用、DMOサイトが活用できるか次回まで調整する。

## 6 その他

### 次回の日程調整

**事務局**：今回は7月下旬ごろ。

## 7 閉会のあいさつ 作業部会長 平野 隆

## 8 閉会